

ののぼり



野登小学校
学校だより
2022.2.18
No.18

学校アンケートご協力ありがとうございました

昨年の12月に実施したアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。遅くなりましたが、結果がまとまりましたので、報告します。

◎学校教育に期待すること

順位	地域	保護者	教職員
1	コミュニケーション力(77.8%)	コミュニケーション力(75.3%)	学習意欲(85.7%)
2	規範意識や思いやりの心(66.7%)	学習意欲(65.2%)	コミュニケーション力(71.4%)
3	学習意欲(55.6%)	規範意識や思いやりの心(50.0%)	規範意識や思いやりの心(71.4%)

ベスト3は上記のようになりました。多少順位は違いましたが、3者共通して「コミュニケーション力」「学習意欲」「規範意識や思いやりの心」の3つの項目が突出して高い割合を示しています。人は一人では生きていくことができません。社会生活の中でより良いコミュニケーション力はとても大切です。電子機器の発達等により、機器を使ったコミュニケーションも増え、社会が一層複雑化する中で、コミュニケーション力は重要な力となってきます。日々子どもたち同士で起こるトラブルも、適切なコミュニケーションが取れていなかったことが原因のことも多々あります。人に自分の気持ちをきちんと伝えること、友達の気持ちを正しく聞き取り、理解することはとても難しいことです。

本校では、国語科の学習を中心に自分を表現する活動や話し合い活動を大切に授業づくりを進めています。また、ふるさと学習等地域の方との関わりの中で、体験を通じた学習を続けています。

今後も、このような学習活動を通して、子どもたちの「コミュニケーション力」「学習意欲」「規範意識や思いやりの心」を育てていきたいと思えます。

◎挨拶ができています

挨拶ができています	児童		保護者		地域		教職員	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
肯定的回答	95%	96%	85%	76%	78%	100%	78%	57%
肯定的回答のうち「そう思う」の割合	70%	67%	33%	26%	11%	33%	14%	21%

子どもたちは「しっかり挨拶をしている」と思っています。一方で地域の方の評価は上がっていますが、教職員の評価が低くなっています。あいさつをされたら返すのではなく、自分から先に進んで挨拶ができるようになってほしいとの願いから評価が厳しくなっているようです。児童会役員選挙では、多くの子が演説で「挨拶のできる学校にしたい」ということを訴え、毎週、児童会役員による挨拶運動も実施しています。相手に伝わる気持ちの良い挨拶ができるよう、今度も取り組みを進めていきます。

◎学校は楽しい

今年も、コロナ禍によって、子どもたちが楽しみにしていた行事が中止や変更となりました。いまだ終息が見えない感染症との戦いはまだしばらく続くと予想されますが、どの子にとっても安心・安全で楽しい学校になるよう、全教職員で工夫していきたいと思ひます。

学校は楽しい	児童		保護者	
	R2	R3	R2	R3
	87%	86%	98%	96%

◎聞く・話す

地域の方からの評価は上がっていますが、保護者・教職員からは厳しい評価がされています。授業中など、改まった場では正しく使えるものの、休み時間など日常生活での言葉遣いには、まだまだ相手の気持ちを考えないきつい言葉が聞かれます。時と場面に応じた正しい言葉が使えるよう日常的に指導を続けていきたいと思ひます。

正しい言葉遣いができている	児童		保護者		地域		教職員	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
	87%	83%	61%	68%	78%	100%	57%	50%

話を聞く態度については、大半の児童ができていますと感じているのに対し、保護者・教職員とも厳しい評価になっています。昨年度からききかた「あいうえお」はなしかた「かきくけこ」を教室に掲げ、全校で統一して

聞く態度ができています	児童		保護者		教職員	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3
	89%	96%	88%	80%	57%	50%

取組を進めていますが、まだ十分とは言えません。聞いているようで内容を理解していない場合が多いように感じられます。夏の教職員研修会では全職員で聞き方指導について共通認識を持ち、2学期からは、聞く場面での声掛け等、子どもたちが意識できるように継続して取組を進めています。

◎学習に関する児童アンケート

国語がわかる		算数がわかる		複数の先生がいる授業はよくわかる		読書が好き	
R2	R3	R2	R3	R3	R3	R2	R3
94%	90%	89%	92%	97%	96%	80%	87%

おおむね授業の理解度は高くなっていますが、苦手で困っている児童もいます。特に、国語で困り感を持っている子が増えているのが気になります。引き続き授業の中で、個別に丁寧な支援を

行っていきます。また、複数体制の授業については理解度が上がっていますが、複数教員が配置できる授業を設定することが難しい現状があります。全員に配備された一人一台端末も効果的に活用しながら、みんながわかる授業づくりを目指します。

◎人権学習の取組

仲間について考える 学習は大切。学校は 取り組んでいる	児童		保護者		地域		教職員	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
	100%	97%	84%	80%	66%	100%	100%	64%

本年度は、12月に全校『なかよし川柳』づくりを、1月に人権集会を行いました。人権集会は、コ

ロナ禍のためオンライン配信システムを使って、1月に行いました。5年生の司会で、まず全校で12月に6年生が参加した中部中学校区の人権フォーラムの還流報告を聞き、その後、『みんなが暮らしやすいつってどういうことだろう?』をテーマに

前半は全校が同じ教材で、後半は各学級で低・高学年違った教材で考えました。これは12月の人権週間に合わせた取り組みです。また、道徳・特活の授業や朝の会・帰りの会等の時間にお互いを認め合ったり、相手の気持ちを考えたりする活動を1年を通して行っています。しかし、まだ人権に対する取り組みが十分ではないと感じている教職員もあり、年間計画も見直しながら、日々の取組にももっと力を入れていきます。

◎学校の取組に関する（保護者アンケート）

丁寧な対応		安心・安全		わかりやすい授業		読書活動		地域学習	
R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
89%	88%	98%	91%	94%	91%	98%	94%	96%	94%

全体的に昨年度と比べ、肯定的な評価が微減しています。これは、新型コロナウイルス感染症により学校での活動を直接見ていただく機会が減ったこと

も要因として考えられますが、保護者の皆様からの大切なメッセージだと感じています。教職員が自己満足に陥ることなく、子どもたちの安全が脅かされることのないよう、今後も子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを進めていきます。

◎家庭生活に関するアンケート

朝ごはんを毎日食べる				家庭学習に取り組む				ゲーム等時間を決めている			
児童		保護者		児童		保護者		児童		保護者	
R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
98%	95%	100%	100%	90%	87%	93%	93%		70%	68%	68%

本年度、「ノーゲーム・ノースマホディ」の取組について、PTAの皆様にも再度考えていただき、改めて、毎週木曜日に設定することに決めました。6年生が実施した全国学力・学習状況調査の児童アンケートによると、全国平均よりゲーム等をする時間は多く、家庭学習の時間が少ないという状況が続いています。一人一台端末の導入・家庭への持ち帰りにより、タブレット等電子機器を扱う時間も増えます。学校で使用のルールは指導していますが、ご家庭の協力なくしては徹底できません。一人一台端末の導入が子どもたちの心身の健康を阻害したり、生活リズムを崩したりする原因となることのないようご協力をお願いします。

学校での指導に家庭での生活、地域での活動(見守り)、どれもが子どもたちの成長にとって大切なものです。地域や家庭・学校が連携しながら、子どもたちの目指す姿を共有し、同じ歩調で取り組むことで大きな成果につなげることができます。今後ご支援・ご協力をよろしくお願いします。